社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）　事後評価書

平成 ２８ 年 ５ 月 １８ 日

計画の名称	養老町における循環のみちの実現		
計画の期間	平成23年度　～　平成27年度　（5年間）	交付対象	養老町

計画の目標

下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

計画の成果目標（定量的指標）

①下水道処理人口普及率を23.4%（H21末）から24.8%（H27末）に増加させる。
②処理場における長寿命化計画策定率を0%（H23）から100%（H27）に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H23当初）	中間目標値（H25末）	最終目標値（H27末）	備考
①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）	23.4%	24.8%	24.8%	※H23当初現況値は、H21末の値を使用。
②処理場における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みの処理場数（箇所）／長寿命化計画策定すべき処理場数（箇所）	0.0%	100.0%	100.0%	

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
養老町にて実施	事業終了後
	公表の方法
	町ホームページ

１．交付対象事業の進捗状況

全体事業費	合計（A＋B＋C）	32百万円	A	31百万円	B	－ 百万円	C	1百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	3.1%

交付対象事業

A１　下水道事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	備考
1.中部処理区																	
A1-1	下水道	一般	養老町	直接	養老町	汚水	新設	竜泉寺地区面整備（未普及解消）	φ150　L=0.3km　A=1.1ha	養老町	━					9	
A1-2	下水道	一般	養老町	直接	養老町		全種	効率的な事業実施のための検討	調査・検討資料作成　N＝1式	養老町	━			━	━	11	
A1-3	下水道	一般	養老町	直接	養老町	委託	改築	中部浄化センター長寿命化計画策定	計画・調査　N＝1式	養老町		━				11	長寿命化
													合計			31	

B　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考
												合計				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考
1.中部処理区																
C-1	下水道	一般	養老町	直接	養老町	新設	竜泉寺地区枝線末端管整備（未普及解消）	φ150　L=0.03km　A=0.2ha	養老町	━					1	
												合計			1	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C-1	基幹事業である幹線と接続した枝線末端管整備を一体的に行うことにより、普及率の向上が図れる。	

２．事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	・効果促進事業と共に効率的に事業が進められ、竜泉寺地区での生活環境の向上と水質保全が図れた。 ・中部浄化センターにおける長寿命化計画が策定され、今後の長寿命化対策工事を計画的に進めることができる。

Ⅱ定量的指標の達成状況					
指標①（下水道処理人口普及率）	最終目標値	24.8%	目標値と実績値に差が出た要因	計画整備面積1.1haに対し実施整備面積は1.18haであり、事業目標は達成できているが、町人口の変動により普及率が減少したものと考えられる。
	最終実績値	24.0%		
指標②（処理場における長寿命化計画策定率）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	
	最終実績値	100.0%		
	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
	最終実績値			

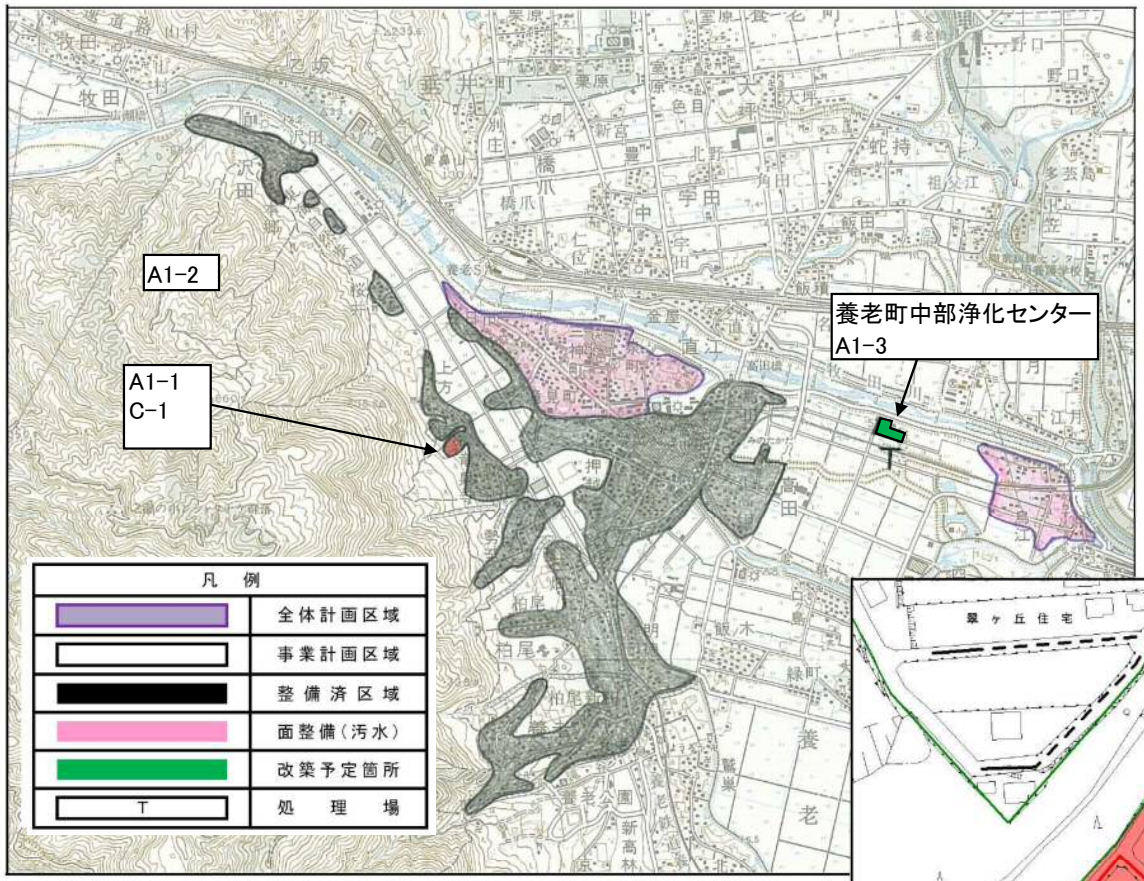
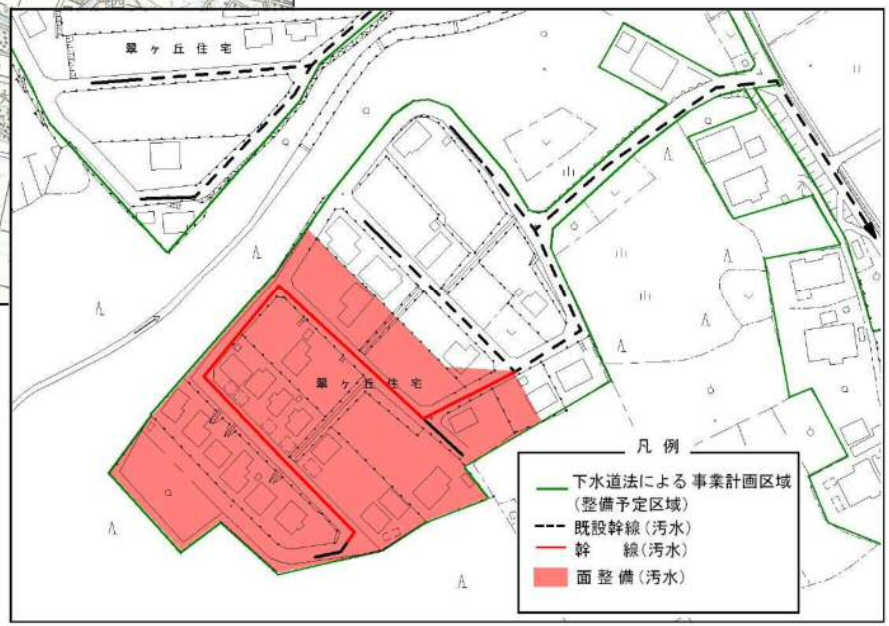
Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	・H23に下水道事業計画の見直しを実施し、人口・汚水量及び中部浄化センターの処理能力の見直しを行った。 ・H26、H27に町下水道基本構想の見直しに向けた資料を作成した。

３．特記事項（今後の方針等）

・策定された長寿命化計画（中部浄化センター）に基づき、処理場の長寿命化対策工事を実施していく。

（参考図面）　水の安全・安心基盤整備

計画の名称	養老町における水の循環の実現		
計画の期間	平成23年度　～　平成27年度　（5年間）	交付対象	養老町



A1-1拡大図